

2017 年度
環境活動レポート

—2017年4月～2018年3月—



里見海運産業株式会社

2018年6月30日

里見海運産業株式会社

環境方針

〈環境理念〉

里見海運産業(株)は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、港湾荷役作業や貨物運送事業において、作業及び車輛運送の効率化・合理化・安全化により、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的、積極的に環境保全活動に取り組みます。

〈環境保全への行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会へ対応）に取り組みます。
 - ②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）に努めます。
 - ③水使用の削減（水資源の保全）に取り組みます。
 - ④社会貢献（地域での環境活動への積極的な参加）に取り組みます。
 - ⑤グリーン購入を実施します。
 - ⑥環境に配慮したサービスの推進に努めます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取り組みを全従業員に周知するとともに社外に公表します。

制定日：2008年11月28日

改訂日：2018年 6月 1日

代表取締役社長

里見 宮寿

I. 登録事業所の概要

1. 事業所名及び代表者名

里見海運産業株式会社
代表取締役社長 里見 宮寿

2. 所在地(認証・登録の適用事業所)

本 社 : 〒894-0035 鹿児島県奄美市名瀬塩浜町 17 番 5 号

【関連事業所】

新港営業所 : 〒894-0035 鹿児島県奄美市名瀬塩浜町 2281 番地
佐大熊営業所: 〒894-0005 鹿児島県奄美市名瀬佐大熊町 2474 番地

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者: 里見 宮寿(代表取締役社長)
環境管理統括者: 東 正治(総務部部長)
環境管理担当者: 玉利 弘幸(総務部課長)
連絡先: TEL.0997-53-3111 FAX.0997-53-2411
E-mail: tamari@satomi-kaiun.co.jp

4. 事業内容(認証・登録の範囲)

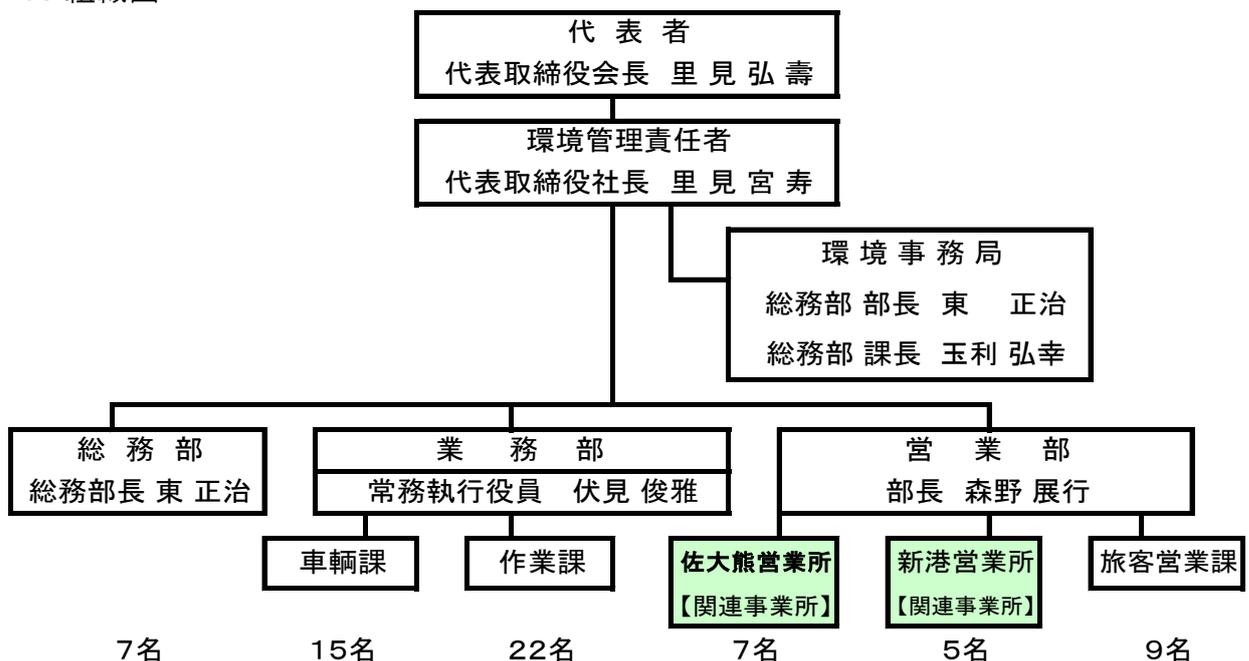
一般港湾運送事業、貨物運送取扱業、一般貨物自動車運送事業、
旅行・船舶代理店業、航空旅客代理店業、建物賃貸業
産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業

5. 法人設立 昭和 27 年 3 月

6. 事業規模

資本金 33 百万円
従業員 67 名
売上高 540 百万円(2017 年度:2017 年 4 月~2018 年 3 月)

7. 組織図



8. 事業許可の内容

○港湾・運搬・旅行関係

- (1)港湾運送事業許可 運輸大臣許可 名瀬港1種4号
(昭和40年6月30日)
- (2)貨物自動車運送事業許可 福岡陸運局長許可 福陸自第5473号87
(昭和45年12月23日)
- (3)旅行業許可 鹿児島県知事 第2-79号(昭和52年8月1日)

○産業廃棄物収集運搬業関係

- (1)産業廃棄物収集運搬業許可証(鹿児島県)許可番号04613082212号
[許可年月日:平成28年12月27日 許可有効期限:平成33年12月26日]
【産業廃棄物収集運搬事業の範囲】
・廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず
・がれき類・木くず・燃え殻・汚泥・廃油・紙くず 以上10種類(積替え又は保管を含む。)
- (2)一般廃棄物収集運搬業許可(奄美市)許可番号 第7号
[許可年月日:平成30年4月1日 許可有効期限:平成32年3月31日]

9. 施設等の状況

- ・事業所延床面積 5,484,38 m²
本社 346.72 m²、上屋 新港(営) 422 m² 佐大熊(営) 1263.10 m²
野積場 新港(営) 1,021 m² 佐大熊(営) 2,431.56 m²
- ・車輛保有台数 38台(箱バントラック5台・トラックユニック車4台・トラック2台・フォークリフト9台
セメントローリー3台・トラクタヘッド4台・トララー5台・軽自動車(トラック含む)6台)

10. 産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬受託実績

廃油 15.5トン 金属くず 16.5トン 汚泥 220トン (平成29年4月～平成30年3月まで)

II. 主な環境負荷の実績

過去4年間の主な環境負荷の実績推移は次の通りです。

項目		単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
電力使用量 ※1・2		kWh	75,727	71,890	75,471	81,764
		kg-CO ₂	44,225	41,984	44,076	47,749
車燃料 使用量 ※2	ガソリン	ℓ	9,944	10,216	9,615	9,716
	軽油	ℓ	215,732	202,9165	203,020	218,766
	CO ₂	kg-CO ₂	589,241	556,238	555,116	596,675
水使用量 ※2		m ³	298	308	304	323
一般廃棄物排出量 ※2		kg	3,960	4,242	4,149	2,799

※1:電力排出量係数:九州電力2014年度実排出係数0.584 kg-CO₂/kWhで算出

※2:データは本社、佐大熊(営)、新港(営)の合計です。

Ⅲ. 環境目標とその実績

【2017年度 環境目標と実績】

項目	単位	基準	2017年度			
			2017. 4～2018. 3			
		2012～2014 年平均実績	目標	実績	達成 評価	
電力の削減	kWh	75,593	73,325	81,764	×	
	kg-CO ₂ 削減率	44,146	42,822 △3%	47,749 +11.5%		
自動車燃料 の削減	ガソリン	ℓ	10,005	9,705	9,716	×
	軽油	ℓ	222,526	215,850	218,766	
	CO ₂	kg-CO ₂ 削減率	607,212	588,996 △3%	596,675 +1.3%	
水使用量の削減	m ³ 削減率	311	302 △3%	323 +7.0%	×	
一般廃棄物の リサイクル化	kg %	排出/資源	25%	541/2,799 19.3%	×	
グリーン購入(本社)	品 %	エコ品/購入 88%	92%	39品/56品 69.6%	×	
環境配慮事業推進	件 達成率	0	1	1 100%	○	
地域環境活動	件 達成率	17	17	23 +35.2%	○	

【2018～2019年度目標】

項目	単位	基準	2018年度	2019年度
			目標	目標
		2012～2014年 年平均実績	2018. 4 ～2019. 3	2019. 4 ～2020. 3
電力の削減	kWh	75,593	73,325	73,325
	kg-CO ₂ 削減率	44,146	42,822 △3%	42,822 △3%
自動車燃料 の削減	ガソリン	ℓ	10,005	9,705
	軽油	ℓ	222,526	215,850
	CO ₂	kg-CO ₂ 削減率	607,212	588,996 △3%
水使用量の削減	m ³ 削減率	311	302 △3%	302 △3%
一般廃棄物の リサイクル化	%	—	25%	25%
グリーン購入(本社)	%	88%	92%	92%
環境配慮事業推進	件	0	12	12
地域環境活動	件	17	17	17

※ 1:電力排出量係数:九州電力2014年度実排出係数0.584 kg-CO₂/kWhで算出

※ 2:データは本社、佐大熊(営)、新港(営)の合計です。

IV. 2017 年度環境活動計画の主要取組み実績

1. 二酸化炭素の排出量削減

(1) 電気使用量削減

- ① エアコンの温度設定を夏28℃に、冬は電気暖房器具の使用は1月から3月までに設定する。
- ② 夏はエアコン(冷房)で部屋が涼しくなったら、送風に切り替える。
- ③ 夏は、窓を開け自然の風を取り入れる。
- ④ 昼休みは、お客様が来社されない事務所は照明を消す。
- ⑤ 使用していない部屋や給湯室及び未使用時の電化製品のスイッチをこまめに切る。
- ⑥ LED 蛍光灯への切り替え

(2) エコドライブの徹底

- ① アイドリングストップを実施する。
 - ② 車間距離を守り、急発進、急加速、急停車をしない。
 - ③ 定期的に運搬車輛、重機等の点検・整備を実施する。
 - ④ 過積載をしない。
 - ⑤ エンジンの空ふかしをしない。
 - ⑥ 事前に現場を確認する。
- ※エコドライブについてパンフレットを作成して配布し徹底する。

2. 水使用量の削減

- (1) トイレの節水対策を検討する。(節水こま、乙姫設置、便器新規取り換え等)
- (2) 節水を職員に再度呼びかける。

3. 一般廃棄物量の削減

- (1) 顧客の荷物に関係する一般廃棄物や旅行部門に関係する外部から入ってくるパンフレット等増加してくるので分別などをしっかり行いなるべく資源化率を高めていく。
- (2) 一般廃棄物の廃棄量の資源化率を高める取り組みに変更。
(リサイクル率を 25%以上目標設定)

4. グリーン購入

- ・グリーン製品の調査を行い、次年度の購入目標率を設定する。
- ・日常的には環境対応商品コピー用紙使用、レザー-プリンタ-環境共生トナー-使用を実施

5. 環境配慮事業推進

- ・事業に伴う環境に配慮した業務として、荷役作業のフォークリフトを荷役量に応じて小型へ切替等の適正使用のしくみを構築した。
- ・今後もエコホテル紹介、エコツアー(自然巡り、自然体験等)等を企画し、実践していく。

6. 地域環境への貢献

- ・湾岸道路クリーン作業
- ・定期的な「観光地クリーンキャンペーン」への参加による清掃活動

<2017 年度活動評価と 2018 年度以降の取組>

2017 年度は、新 3 ヶ年目標・計画の 3 年目取り組んできたが 7 項目中 2 項目しか達成できなかった。2018 年度は、昨年に引き続き、陸上自衛隊誘致関連の仕事量が確実に増える為、これまで以上に車輛のエコドライブ指導を行う。

V. 環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

法規名	該当する項目
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物収集運搬・処分 (許可・実績報告)
自動車リサイクル法	社用車購入時のリサイクル料金支払い
フロン排出抑制法	フロン類の使用機器の廃棄時、回収・破壊の専門業者委託 業務用エアコンの簡易・定期点検と記録保管

環境関連法規制等の順守状況を定期評価した結果、環境法規制等の逸脱はなかった。
また、過去の法的違反や地域住民からの訴訟、苦情はない。

(2018年3月31日現在)

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

2017年度環境目標・活動計画は、自動車燃料の削減、本社1階では照明をLED蛍光灯に切り替えを行い、社全体で電気量節減に努めてきました。本社1Fでは、格安航空券バニラエアー・離島航空割引カードなどの割引を利用したお客増に対応する時間外の仕事が増えたため逆に電気量増になりました。2018年度は、自衛隊誘致関連の仕事量が確実に増える為、これまで以上にアイドリングストップ等を行い、車輻に優しい、地域住民に優しい運転を心掛けるなどしてCO₂排出量削減に努めていく。また、室内のエアコン(冷房・除湿・送風)の切り替え、更に他部署も照明等のLED蛍光灯切り替えなどで電気使用量削減に努めていく。環境配慮事業に関しては、業務上の改善やツアー企画を盛込んだ事業やサービスを進めていく。

エコアクション21を展開して、従業員の環境保護や行動に対する意識が変わってきていると感じる。又、環境活動レポートをホームページに掲載し、尚いっそう会社アピールを行い、荷役や旅行業のプロとして、お客様への期待に沿えるよう、運営体制においても各人がどのような役割を担っているのか、各人の役割、責任及び権限を認識し地域に愛されるよう、エコアクション21への一層の取り組みや環境への社員の意識向上を図っていききたい。

以上

【事業や環境活動の紹介】



本 社 & 旅行部門



佐大熊営業所



港湾荷役作業



沿岸荷役作業



奄美ツーリストサービス(旅行部門)



あまみ引越サービス(引越部門)



クルーズ船・他船舶代理店業務



社内月例改善委員会・研修会



『奄美の自然見守り隊』清掃活動



会社前緑地帯清掃活動(月2回)



奄美まつり会場ボランティア清掃活動



平成27年度第6回安全大会